



Irodori Biyori

彩り日和

人生を彩る、暮らしとお金の情報メディア

Vol.01

2022
SUMMER



Special
Interview



大人も知っておきたい
次世代の“生きる力”を磨く『金融教育』とは？



INDEX

- 02 ————— Column Vol. ❶ 創刊号の発行にあたって
- 04 ————— 金融情報
 - 04 ——— Special Interview 金融庁 中村香織さん
次世代の“生きる力”を磨く『金融教育』とは？
 - 07 ——— ¥joy!最大2万ポイントでこんなにもお得!「マイナポイント活用法」
- 08 ————— 商品紹介
 - 08 ——— 暮らしに役立つサブスクリプション「GOESWELL PLUS+」
- 10 ————— 地域特集
 - 火災保険料が値上げ! しかも10年契約が廃止!?
- 11 ————— 発行元紹介



「様々な未来を創れるように、
人生をより豊かに」

この想いから「Irodori Biyori」が完成しました。



株式会社GOESWELLは人々の暮らしに「安心」を提供するため、保険ショップ「保険見直し本舗」を運営しています。当社の使命は、保険やお金を自由に・身近な存在に感じていただくこと。

日々、店舗を通じてお客様とコミュニケーションを図っていますが、それを実現するためには他のアプローチも必要と考えました。そしてこのたびメディア事業部を立ち上げ、デジタル・アナログの各メディアを活用し、お金や暮らしに関するコンテンツを楽しく・親しみやすく・わかりやすく発信する活動を開始しました。本誌はその一環として制作した情報誌です。



現代はTV、新聞のほか、SNSやニュースサイトなど様々なメディアから情報が入手できます。インターネットの普及により、いつでもどこでも、自分の欲しい情報が手に入るようになりました。

反面、情報過多であり、内容が適切かどうかを自分で判断しなくてはいけない面があります。そのためには知識が必要です。知識を身につければ、自分で情報の取捨選択ができ、豊かな人生を送ることができると、私たちは考えます。

しかし、私たちは金融に関する知識を等しく持っているわけではありません。それは環境、教育……様々な要因で「知る機会」に差が生じているためです。

知識の量はあらゆる格差を生み、人生の豊かさへ影響を及ぼします。

私たちは格差のない社会の実現を目指し、人々の金融リテラシー向上を推進します。

保険・金融商品は目に見えませんが、だからこそ、仕組みや必要性の理解が極めて大切です。

この情報誌は、手に取った方が「お金や保険のこと、少しわかったかも!」と思っただけのよう制作しました。

取り上げて欲しいテーマや、保険について知りたいことを募集していますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

最後になりましたが、創刊号の発行にあたり、ご支援ご協力賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

ぜひチェックしてください!

キュレーションサイト・公式YouTube更新中!

ご意見・ご感想はこちらから



キュレーションサイト
Irodori Biyori

お金や暮らしに関連する情報やコラムを更新しています。



公式YouTube
GOESWELL.CH

有識者へのインタビューや、保険・お金の豆知識動画を配信しています。

※成年年齢引き下げに伴う年齢要件の主な内容

20歳から18歳に引き下げられるもの	20歳が維持されるもの
<ul style="list-style-type: none"> ◆法定代理人(親など)の同意がなくても契約できる ・携帯電話の購入 ・アパートなどの賃貸借契約 ・クレジットカードをつくる ・ローンを組む など ◆10年有効のパスポートの取得 ◆公認会計士や医師免許などの国家資格取得 ◆性同一性障がいによる性別変更の請求 	<ul style="list-style-type: none"> ◆飲酒 ◆喫煙 ◆公営ギャンブル(競輪、競馬、競艇、オートレース)の投票券などの購入 ◆国民年金への加入 ◆大型・中型自動車運転免許の取得

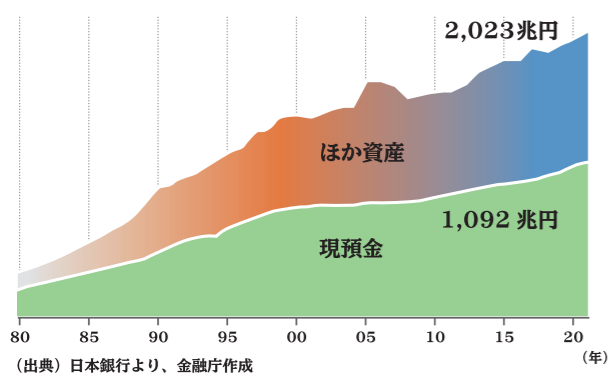
(出典)「政府広報オンライン」
(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201808/2.html>)を元に加工・作成

iDeCoの加入可能年齢の拡大



(出典)「制度改正に関するチラシ iDeCo 加入者・加入検討中の方向け」(厚生労働省)
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000194194_00002.html)を加工して作成

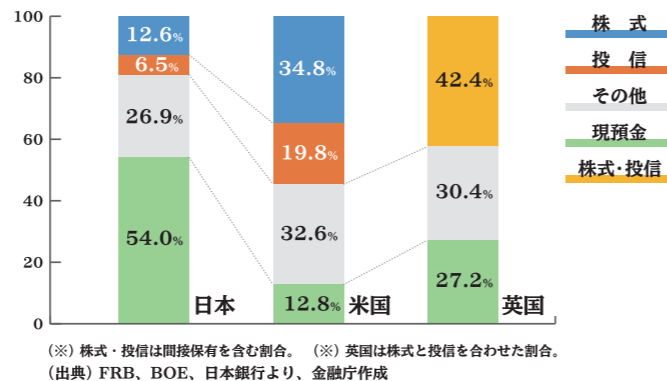
我が国の家計金融資産の推移 (2021年12月末時点)



(出典) 日本銀行より、金融庁作成

家計金融資産の推移・構成比

各国家計の株式・投信の割合 (2021年末時点)



(※) 株式・投信は間接保有を含む割合。(※) 英国は株式と投信を合わせた割合。
(出典) FRB、BOE、日本銀行より、金融庁作成

すごく大事なことでと思っています。私たちが親子で参加できるイベントを行うことがあります。親御さんの方が「すごく勉強になりました」と言っていたことも多く、今後、このような機会を作っていくことが大事だと思っています。また今は「金融教育は大事ですよ」という気運が高まっており、私たちだけではなく、色々な民間の方たちが、授業やイベントなどをしてくださっています。多くの金融機関の皆様にも是非担い手になっていただきたいです。そうすることで、親御

子どもの金融教育を強化していく中、親世代がお金に対する知識に自信がないと感じています。親世代に対してもリテラシー向上に繋がるような施策はありますか？

密接に関係していると思います。一人の大人として、保護者の同意なく契約できるが増えるので、良い面もあれば、取り消せないという意味では逆にデメリットになり得ます。よく考えずに契約してしまつてから「そんなはずじゃなかった」ということにならないように、契約に関することや、違法なものやリスクが極めて高いものの特徴などについて、社会に出る前に一通りの事を知っておいてもらいたいなと思っています。

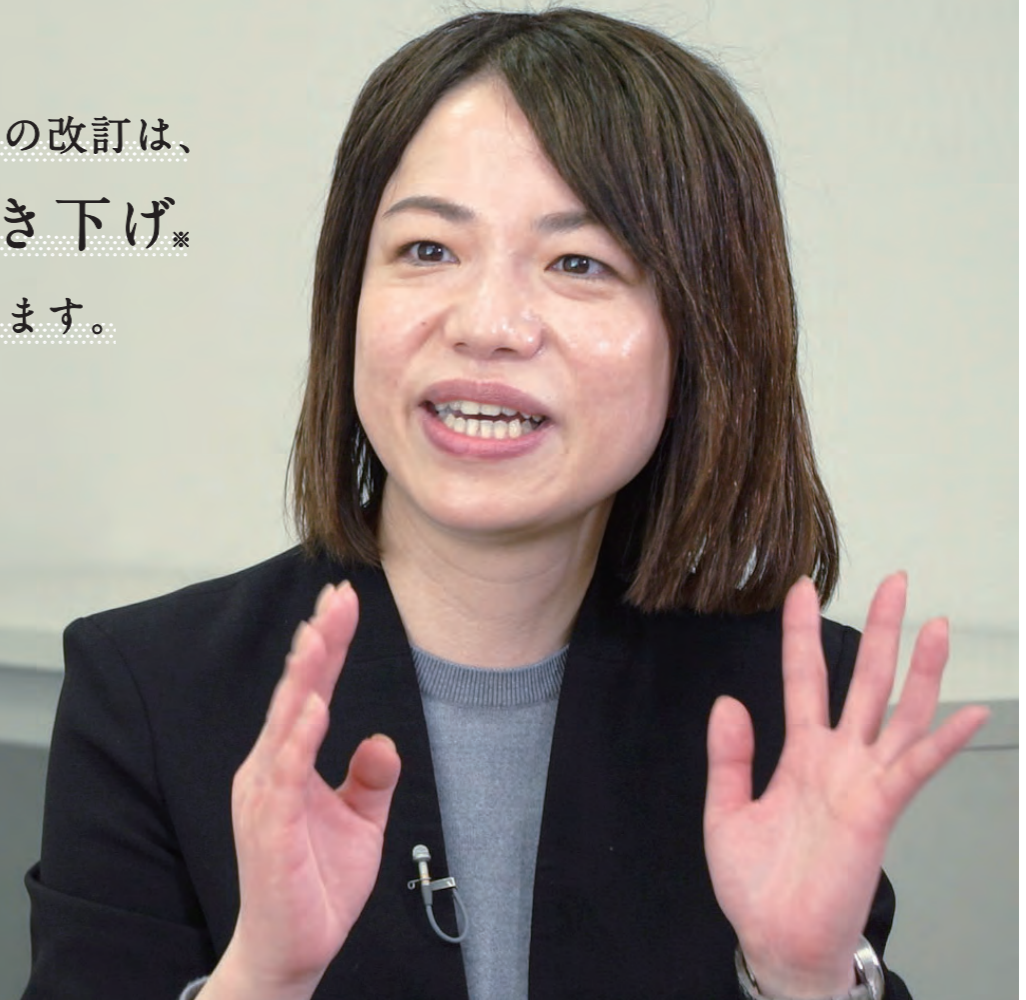
4月から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられますが、そこも関係しているのでしょうか？



SPECIAL INTERVIEW!

大人も知っておきたい
次世代の“生きる力”を磨く
『金融教育』とは？

高校の学習指導要領の改訂は、
成年年齢の引き下げ※
が密接に関係しています。



金融庁総合政策局
総合政策課総合政策管理官
中村香織 さん
Kaori Nakamura

※所属・役職はインタビュー当時のものです

2022年4月から高校の学習指導要領が改訂されました。具体的にどのような内容に変わったのでしょうか。

高校の家庭科の中で、金融教育に関する授業は元々ありましたが、今年の4月から『資産形成』についても触れられるようになりました。これまでも、将来のライフプランとあわせてお金の事も考えていきたいと思います。ということから始まり、住宅ローンやリスクへの備えとしての保険については、教えられていました。今年からはそれに追加して、資産形成という観点や、株式や投資信託などについて、どのようなものなのか、メリット・デメリットを含めて学ぶこととなります。

資産形成が追加された背景について教えてください。

長寿化やライフスタイルの多様化などがあげられると思います。昔と比べて今は、自分がどのように生きていきたいか、家庭の持ち方や働き方などの多様性が広がり、自分なりに考えて、実現しやすくなったという意味で、とても良い時代だと思っています。一方で、そのために必要なお金をどのようにして稼いでいくか、どうやって準備していくか、そのための方法として『借りる』ことや、保険で『備える』ことだけでなく、『資産形成』も加わったことは、大きな意味のあることだと思っています。

さん世代へも様々なコンテンツを届けられるといいなと思っています。

金融リテラシーが上がったというゴールはどこになるのでしょうか？

この状態になればゴールというものはありません。ちなみに、実は金融リテラシーは世界的に定義がありません。

最近耳にすることも多いと思いますが、各自の“ウェルビーイング”を達成するために、お金の面で必要な知識や実際の行動・態度などを総合して金融リテラシーといえます。暮らしていく中でお金の関わりは不可欠なので、自身の幸せのためにお金をどのように貯め、増やし、備えるかを考え、実践すること。また、お金は貯めること自体がゴールではなく、いずれ何かの目的のために(寄付や相続なども含め)使って幸せになるものだと思えますので、お金とうまく付き合っていけば、より幸せになれる“ウェルビーイング”になれるということだと考えています。

お金の話で将来の不安を煽る形で伝えられることが多いですが、いたずらに不安になるだけではなく、きちんと自分で考えていく。そのためにも金融リテラシーは大事だと思っています。



最大 **2万ポイント** でこんなにもお得!

マイナポイント活用法

ご存知ですか? マイナポイント

総務省が実施するマイナンバーカード取得者を対象とした【ポイント付与施策】です。昨年実施されたマイナポイント第1弾に引き続き、2022年からは第2弾が開催されています。第1弾でポイントを取得された方も、まだこれからという方も必見です!



『マイナポイント第2弾』は3本柱で最大 **20,000円分** もらえる!

1 マイナンバーカードの新規取得等で 5,000円分	+	2 健康保険証としての利用申込で 7,500円分	+	3 公金受取口座の登録で 7,500円分
--	---	--	---	--

たとえば・・・家族みんなでポイントを受け取ったら?

ママ 決済サービス申し込みから健康保険証利用申込、公金口座登録で 20,000ポイントゲット!		ママ 決済サービス申し込みから健康保険証利用申込、公金口座登録で 20,000ポイントゲット!
子 WAONへのお申し込みで 5,000 WAONゲット!		子 Edyへのお申し込みで 5,000円分のEdyギフトゲット!

家族全員で最大で **80,000円分相当** をゲット!

夏の家族旅行に行けちゃうくらい家計には大きなインパクト!

※紐づけ出来るマイナンバーカードは、本人、もしくは本人が法定代理人となるお様のものとなります。 ※紐づけできる決済事業はどれか一つ、原則変更不可です。
※「楽天Edy (ラクテンエディ)」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

いかがでしたか? キャッシュレス派には見逃せない第2弾、現金派の方でもいいなと思っていただけただけではないでしょうか。これを機に、是非うまく制度を取り入れ、活用してみてください。詳しいマイナポイントの取得方法について知りたい場合は総務省の公式サイトをご確認ください。

マイナポイント 取得方法

YouTube連動!

GOESWELL公式YouTubeでも、マイナポイントについて動画でわかりやすく解説しております。



GUEST FOCUS

もっとイロイロ聞いてみました!



金融庁への入庁を考えたきっかけは?

国家公務員になろうと思ったきっかけの一つとして、民間企業の方から「規制が厳しいから(新しいことをやるのが)難しいんだよね」といった話を聞く機会がたまたま重なり、自分の性格的に、ルールを変えられるところにいた方が面白いと思ったからです。今の時代、どの分野も動きは非常に早いのですが、その中でも金融は特に動きが早そうで退屈せず仕事ができるかなと思っ、ほぼ直感で決めました。すごく意識低い系なんですけどね。元々金融のことを勉強していたんですかと聞かれることもあります。全くそんな事はなくて『採用してくれたら勉強します』とすごく生意気なことを言っていました(笑)。

入庁されてから、辛かったことややりがい、また入庁前後でギャップはありましたか?

最初は右も左も分からず、物理的にもあちこち走り回っていたらあつという間に終わって

しまいました。それでも法律が改正される場面に、ほんのちよつとですが関わったことに、自分なりに充実感を覚えたのは今でもよく覚えています。私は金融庁に対して特にイメージを持ってはいなかったのですが、金融庁外で話を聞くと、機械のような人たちが黙々と働いているといったイメージを持たれていることが多いと後から感じました(笑)。けれど全然そんなことはなく、職員同士のコミュニケーションも含め、良くも悪くも人間的で、さつきまでも同じ職場の人とたわいもない雑談をしていました。一般的な職場とそれほど変わらないのだと思います。

入庁された当時と現在で、金融教育に対する取り組み方に違いはありますか?

私が入った頃から担当の係はありましたが、取り組みとしてはここ数年で強化されてきていると感じます。私も実際に学校へ行って授業をすることもありますが、コロナ禍以前は、金融教育の担当以外の職員も、自分の出身校などに行つて授業をしよう、という取り組みをしていた時期もありました。コロナ禍の真つ只中の時期は授業の機会は減りましたが、オンラインなどを活用して、地方の財務局の皆さんもたくさん授業を行つてくれました。その時の熱意や学校との関係性は続いていると思います。

“ウェルビーイング”

お金とうまくつきあっていけばより幸せになれるってことなんです。

最後に、本誌の読者様へ向けたメッセージをお願いします。

金融は難しいとか、金融庁は固そう、などと言われることが多いですが、皆さんお金に対して興味はあるし好きですよ(笑) お金とは一生のお付き合いですから、あととよりうまく付き合っていけるものが金融リテラシーなのだと思っています。このインタビューを通して、少しでも興味を持っていただけたら嬉しいなと思っています。

中村香織 なかむら かおり

2006年、金融庁に入庁。2020年7月より現職で金融経済教育を担当。高校や大学を中心とする出張授業や授業用動画教材の作成、小学生向けのコンテンツ作成のほか、安定的な資産形成の促進の一環として「つみたてNISA」の普及促進などに取り組んでいる。

※所属・役職はインタビュー当時のものです



GOESWELL公式YouTubeにて、インタビュー動画をご覧いただけます!





商品紹介

暮らしに安心と豊かさを

GOESWELL PLUS+

レジャーに。グルメに。家族を守る2つの補償も受けられる!



GOESWELL PLUS+ は、
 毎日の暮らしがワクワクする優待サービスと、いざという時に家族を守る
 2つの補償が受けられるサブスクリプションサービスです。
 国内外20万以上の施設やアミューズメントなど、同伴した方も会員価格で利用可能!
 優待サービスのほかには、スマートフォンだけでなくPCやゲーム機も補償する「モバイル端末補償」と、
 自転車を使用した際の万が一に備えられる「サイクル補償」が受けられます。
 ご自身だけでなく、家族も補償対象なので、特にお子様がいらっしゃるご家庭は安心。
 お出かけを楽しんでいただける様々なサービスを、今後も展開していきます!

月額 **1,100円** (税込)

 優待サービス	 モバイル端末補償 <small>(通信端末修理費用保険)</small>	 サイクル補償
<p>----- 最大 -----</p> <p>80%OFF</p>  <p>家族との外食や 旅行のホテル代など</p>	<p>----- 補償 -----</p> <p>年間5万円まで <small>(支払回数は年間2回まで)</small></p>  <p>スマホはもちろんPCや ゲーム機も家族の分まで</p>	<p>----- 補償 -----</p> <p>1億円まで</p>  <p>相手に対してケガなどをさせて 賠償責任が生じた場合に</p>

ご利用ステップ

- 1 便利な保険管理アプリ「GOESWELL」をダウンロードして & 会員登録!

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう


- 2 アプリを開き GOESWELL PLUS+ を申し込む

をタップ! 必要事項を入力してください。
- 3 GOESWELL PLUS+ を使う

をタップ! 即日ご利用いただけます。



GOESWELL アプリは、複数の保険会社・保険種類をまとめてデータ管理でき、家族との情報共有機能や保険会社の情報登録機能を活用すれば、いざという時の手続きをスムーズに行うことができます。
 アプリと会員サービスのご利用で、暮らしに安心と豊かさをプラスしませんか?

※最新の情報や特典内容・ご利用方法はステップ3の二次元コードを読み込み、「サービス内容を詳しく見る」からご確認ください。 ※画像はすべてイメージです。
 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、内容が変更になる場合がございます。
 ※掲載内容はすべて2022年6月現在の情報となります。予告なく変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



保険選びをもっと自由に お金をもっと身近に

発行元紹介

株式会社 GOESWELL は、生命保険・損害保険・少額短期保険あわせて40社以上を取り扱う来店型保険ショップ「保険見直し本舗」を運営しています。
一方、保険代理店の枠にとられない、多角的なアプローチでお客様の「安心」「豊かさ」に携わる事業も展開しています。

事業内容

リアルショップ事業



全国340店舗*。今後も続々出店予定

- 保険見直し本舗
- 住宅ローンプラザ
- フランチャイズ支援

※2022年5月現在

WEB・オンライン事業



インターネットを活用したコミュニケーション

- WEBサイト上でお申込みまで完結「ダイレクト保険申込」
- 非対面・非接触のコンサルティング「オンライン保険相談」

サブスクリプション事業



2万*ダウンロード突破

- 保険証券管理アプリ「GOESWELL」
- 有料会員サービス「GOESWELL PLUS+」

※2022年5月現在

メディア事業



保険・金融に特化した情報配信

- 「Irodori Biyori」 Web
- 「Irodori Biyori」 Magazine
- YouTube 「GOESWELL.CH」

広告掲載を募集しています

「Irodori Biyori」に広告を掲載する企業様を募集しています。掲載に関するお問い合わせは、右記メールアドレスまでご連絡ください。

株式会社GOESWELL メディア事業部
担当：小菅・山田
mediakoukoku@gwell.co.jp

発行元

会社名 株式会社GOESWELL
住所 東京都新宿区新宿5-17-18 H&Iビル
TEL/FAX 03-6636-5296 / 03-6636-9997
URL https://www.gwell.co.jp/



次号は2022年秋発行予定です。
お楽しみに!



2022年10月

火災保険料が値上げ!しかも10年契約が廃止!? 火災保険を見直すなら今がおススメ!

2022年10月から、全国平均で10.9%の保険料値上げが決定しました。これは2005年の平均8.7%を上回る過去最大の引き上げです。また、10年契約が廃止され、最長契約期間が5年に変更されます。そこで今回は、改定の背景と少しでも保険料を抑える方法をご紹介します!

そもそも火災保険とは?

火災などが原因で損害を受けた際、建物や家財を補償する保険です。火災だけではなく、台風・落雷・水災・雪災など、自然災害での損害も対象*となります。ただし、地震や噴火、またはこれらによる津波を原因とする損害については火災保険では補償されず、地震保険の加入が必要となる点に注意が必要です。*保険会社・保険の種類により補償の範囲は変わります。



補償内容は保険会社によって異なる?

特約を外せる商品と外せない商品で異なる場合があります。また、地震保険の補償内容は各社共通です。

2005年からの変化...

保険料引き上げ率

8.7% ▶ 10.9%

契約期間

10年 ▶ 5年

どうして改定されるの?

築年数が古い住宅の増加

築年数が古いと、電気・給排水設備などの老朽化や火災・水漏れや台風・大雪による損壊など、火災保険におけるリスクが総じて高くなります。今後もリスクの増加が見込まれるため、保険料の値上げが必要となっています。



度重なる大規模な自然災害

2017年度から2018年度に発生した大規模な自然災害の影響を踏まえて、2019年に平均4.9%の引き上げが行われました。しかし、以降も大規模な自然災害が発生したため、2022年に再度改定されることになりました。



保険料を抑えるには?

1 改定が適用される前に長期契約を結ぶ

2 unnecessary 補償は外す

3 免責金額を設定する

4 保険会社・商品进行比较する

保険料の改定実施前に、ご自身の契約内容の確認をおすすめします。火災保険の内容についてご不明点があれば、保険見直し本舗までお問い合わせください。無料でご相談が可能です。是非お気軽にご利用ください!

0120-934-075 (営業時間 10:00~18:00 ※年末年始除く)

もっと火災保険について知りたい方はこちら





企画・制作／株式会社 GOESWELL メディア事業部

GW管理-20220713-0292

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5 丁目 17-18 H&I ビル TEL: 0120-934-075

- ◆本誌掲載の写真、記事などのコンテンツの無断転載を禁じます。
- ◆当社は、本誌記載の情報につき、正確性、完全性、有用性、最新性、特定の目的への適合性等について一切保証するものではなく、本誌の記載により読者が損害を受けた場合でも、いかなる責任を負うものではありません。